

次世代構造専用 BIM

(BIM 構築、構造図作図、設計数量算出)

SIRBIM Ver. 2

新商品のご案内

拝啓 毎々格別のお引立にあずかり厚く御礼申し上げます。

新製品『**SIRBIM Ver.2**』のリリースについて、ご案内申し上げます。

『**SIRBIM**』は、『**SIRCAD**』の後継製品ですが、大きくリニューアルしました。建築構造躯体モデルの作成機能をいっそう強化し、さらなるデータ連携機能と **BIM** 構築機能を搭載した次世代のための構造専用 BIM ソフトです。今後は、作図機能はもちろん、**構造専用 BIM** としてのモデリングソフトとしても進化していきます。

『**SIRBIM**』の主な機能に関しては、下記のとおりです。

お目通しの上、ご購入をご検討くださいますようお願い申し上げます。

敬具

主な『**SIRBIM**』の機能

- Windows 10、Windows 11 (64bit)に対応しています
- 『**SIRBIM**/入力』に関しての特徴
 - 各種一貫構造計算ソフトで計算した構造躯体モデルをインポートできます
また、新規に構造躯体モデルを一から入力することもできます
 - 複数の画面を同時に開いて入力可能です
 - 部材定義は、エクセル形式で入力可能です (コピー&ペースト)
 - 下記の部材に関して、断面リスト図を確認しながら入力値を修正できます (リスト図確認機能)
・基礎、柱、梁
 - 部材配置機能としての特徴
 -  Undo/Redo 機能があります
 -  見上図/見下図を伏図配置しながらボタンクリックで切り替えられます
 -  レベル表示/非表示を伏図配置しながらボタンクリックで切り替えられます
 - 文字サイズ 配置画面での文字表示サイズをいつでも変更できます
 - 全選択機能を設け、全ての部材をマウスで選択して修正可能です

- ・選択されている部材は、色が変わりますので、間違えないで入力できます
- ・符号を指定してその符号を選択状態にできます (符号検索機能)
- ・参照図登録機能を設け、構造図を登録して、伏図・立面配置で参照しながら配置可能です

⑥ 小梁、床 (スラブ) 配置機能の特徴

- ・小梁の配置をパターン化し、一度に複数本配置可能です
- ・大梁・小梁で囲まれた領域を床として自動認識し、マウス1クリックで配置できます

⑦ 壁組登録・配置機能

- ・S小梁、S間柱、ブレースを壁組として壁組名称を付けて登録出来ます。
- ・任意の立面フレームで、壁組名称を選択して配置できます。

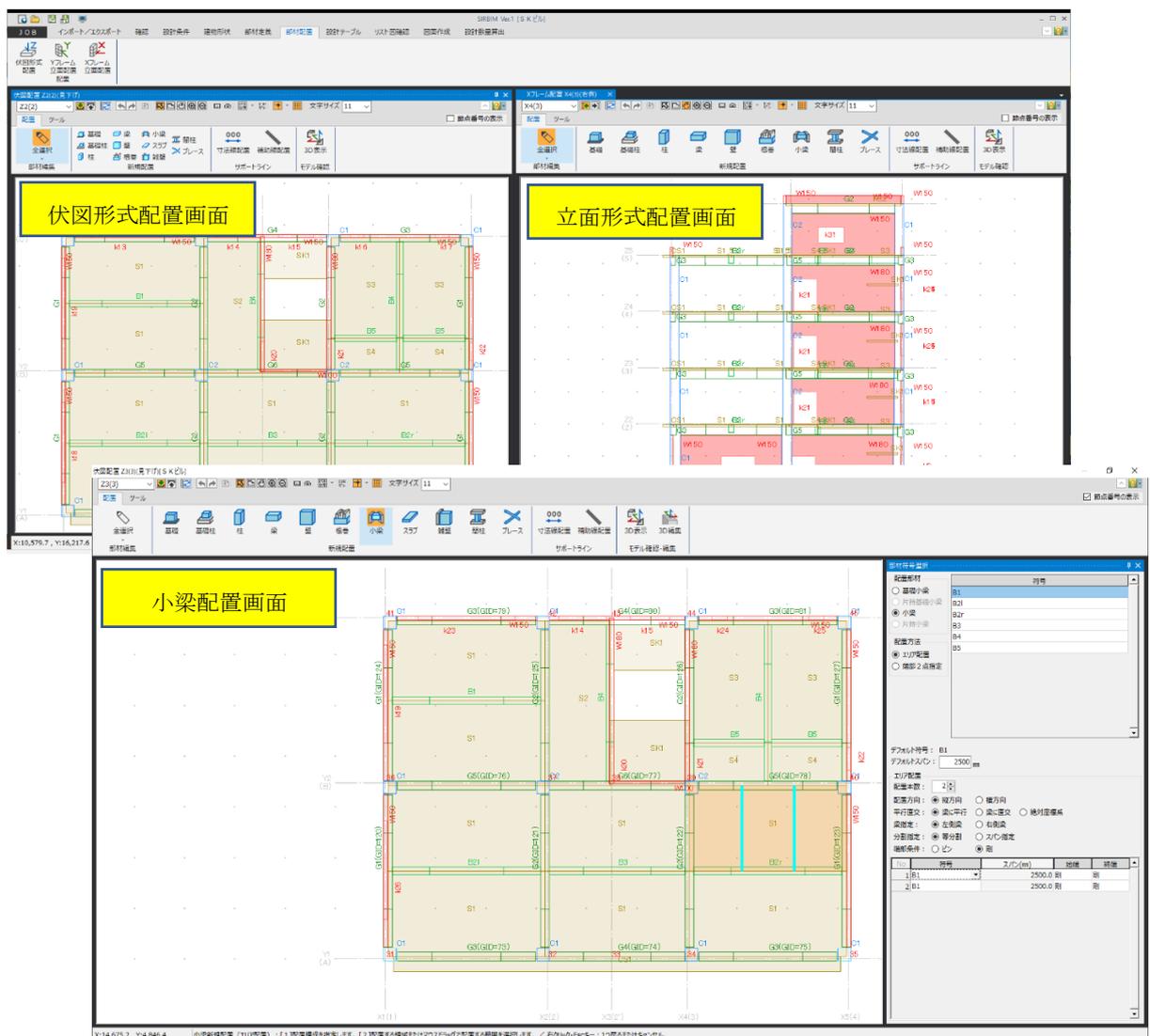
⑧ 「SS7 import」 (Super Build/SS7→SIRBIM) を標準機能にしました

⑨ 「柱・梁継手計算書作成」(SCSS-H97 準拠) を標準機能にしました

この機能を使うことにより、母材から継手情報を作成可能です

また、『SIRBIM/数量』オプション機能で、ボルト、プレートの数量を集計できます

⑩ 設計変更に対応した「差分更新」ツールを標準で搭載いたします



③ リスト図のレイアウト機能

用紙を指定して、リスト図をレイアウトすることができます。用紙枠に収まらない場合は、符号範囲、階範囲などを指定して、再作図することができます。

(柱リスト例)

ドラッグ&ドロップ

柱リストのプロパティ編集

符号の作図範囲、符号枠幅、作図階範囲、階枠高さを指定します

「確定」により再作図

符号の作図範囲	C1	~	C2
1	C1		C2
枠幅	34		34

階の作図範囲	Z1(1F)	~	Z5(5F)
階	Z1(1F)		Z5(5F)
枠高さ	43		43
まどめ枠			

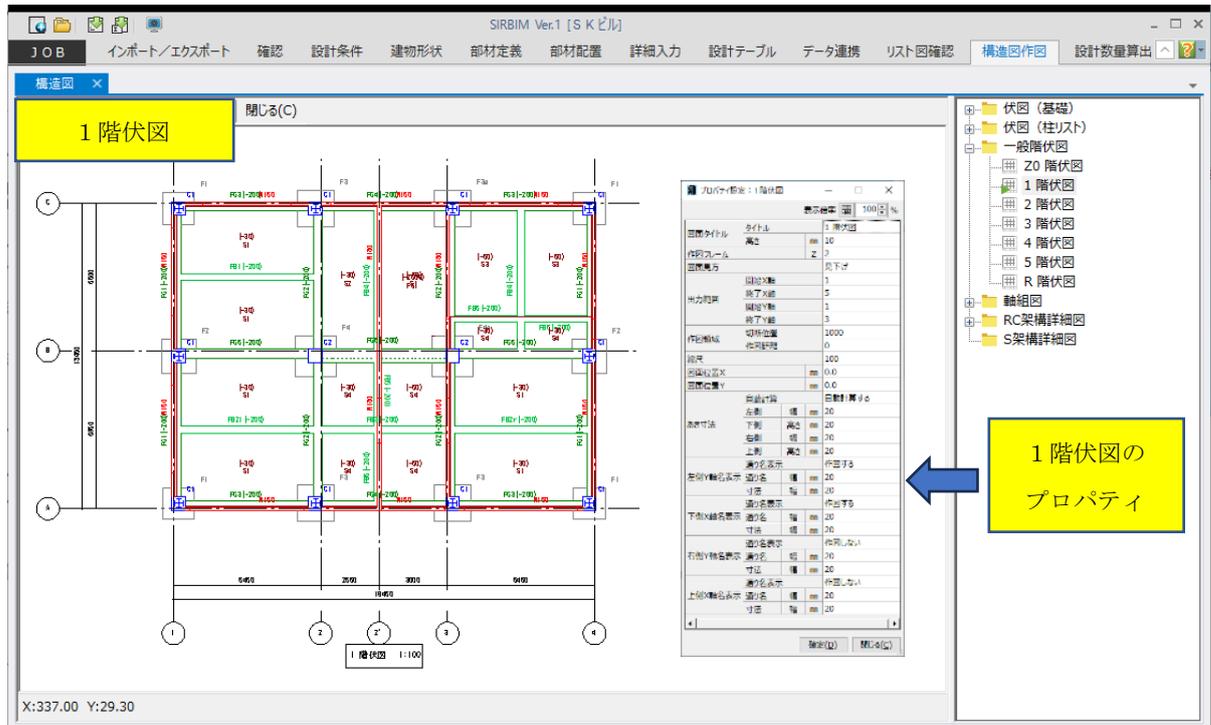
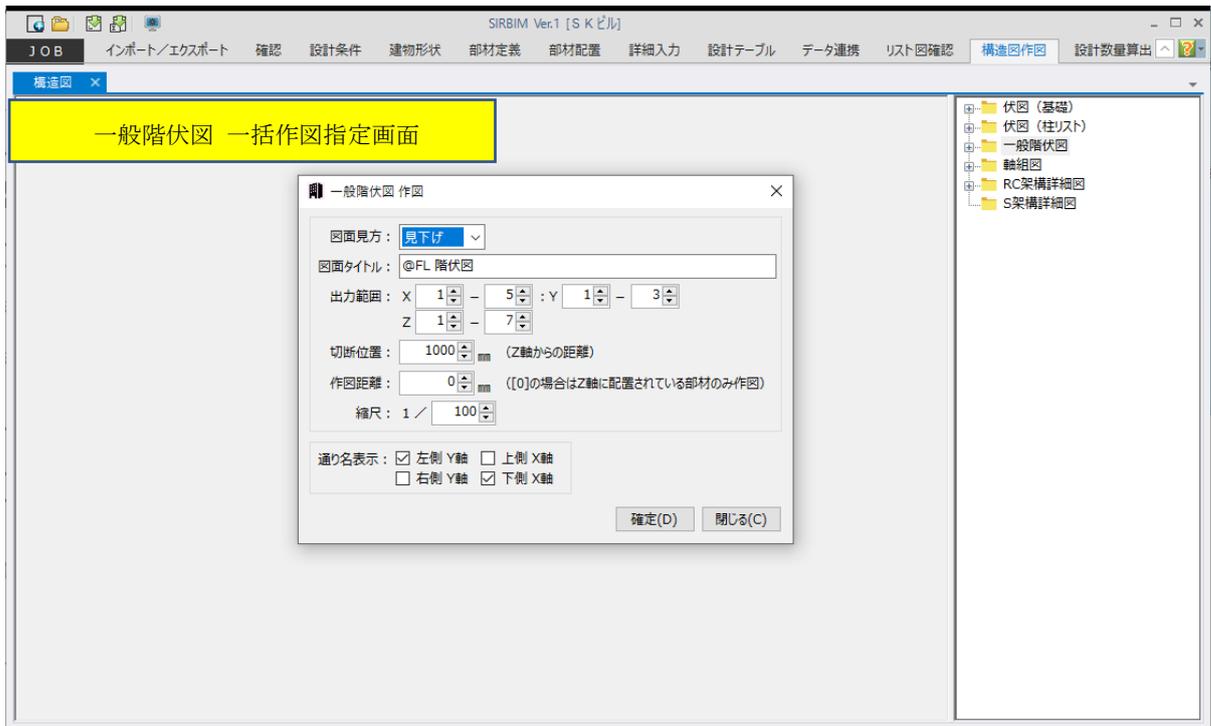
微調整により、用紙枠内に「柱リスト」をレイアウト出来ました。

4. 『SIRBIM／構造図』に関する機能

- ① 構造図（伏図、軸組図、RC 架構詳細図、S 架構詳細図）の一括作図、CAD 出力機能
- ・各項目毎に一括で作図して、一括で CAD ファイル (dxf, mpx, jww) に変換可能です
 - ・全ての階の伏図を一括で「見上げ」で作図し、Z1 層のみ「見下げ」で作図することができます
 - ・CAD 出力は、1 図面ごとにも出力可能です
 - ・構造図の作図は、フリー用紙に作図します

② 一括作図例

下記の例は、Z1～Z7 までの全層の伏図を「見下げ」で一括作図する例です



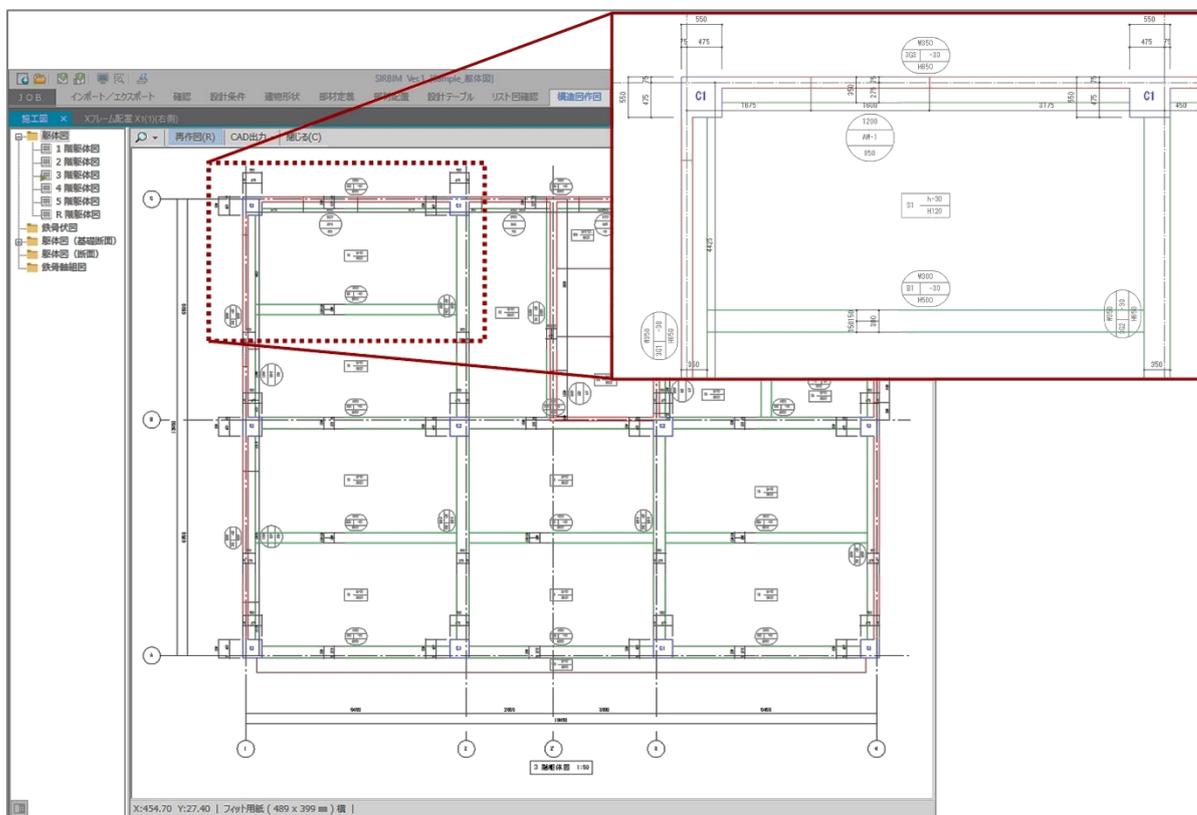
- ・各図面毎に、「プロパティ」情報を持っており、プロパティを変更して再作図可能です

5. 『SIRBIM／構造図・施工図』に関する機能

「SIRBIM／構造図」の機能に加えて、施工図元図となる躯体図、躯体断面図を作成します。

- ① 構造図（伏図、軸組図、RC 架構詳細図、S 架構詳細図）の一括作図、CAD 出力機能
- ② 施工図（施工図の元図となる躯体図、躯体断面図）の一括作図、CAD 出力機能
 - ・ 図面種類毎に一括で作図して、一括で CAD ファイル（dxf、mpx、jww）に変換可能です
 - ・ 全ての階やフレームの図面を一括で作図し、図面見方（見上げ／見下げまたは右側／左側）を図面ごとに変更可能です
 - ・ CAD 出力は、1 図面ごとにも出力可能です
 - ・ 作図は、フリー用紙に作図します
 - ・ 図面毎に、「プロパティ」情報を持っており、プロパティを変更することで作図範囲を指定して再作図可能です

下記は、RC 造モデルにおける躯体図の作図例です。



6. 作図設定管理機能

作図設定をグループ名を指定して管理できるようにしました。

例えば、お客様毎に作図設定が異なるような場合、A社用作図設定、B社用作図設定等、と管理テーブル名登録し、各項目の作図設定をその管理テーブル名に紐付け出来るようにしました。

SIRCAD Ver.6 作図設定読み込み

「SIRCAD (Ver6)」で作成した作図設定を読み込む事ができます。

システムテーブルの一括使用設定

管理テーブル名を指定して、現在の JOB 名に一括で、作図設定を指定出来ます。

SIRCAD Ver.6 設定 標準テーブル ▼ 確認・修正 一覧表示・削除

「SIRCAD (Ver6)」で設定可能な作図設定をできる限り、「SIRBIM (Ver2)」でも使用できるようにしました。詳細な項目に関しては、「SIRBIM マニュアル (SIRCAD 作図設定編)」を参照ください。

SIRCAD Ver.6 作図設定読み込み

で読み込むと、自動的に「SIRCAD Ver6 設定」テーブルに読み込まれます。

7. 『SIRBIM/数量』に関する機能

- ① 『SIRBIM』で入力した構造躯体数量(コンクリート、型枠、鉄筋、鉄骨)の集計計算が可能です
 - ・ 集計結果の根拠となる部材毎の拾った詳細情報がわかります
 - ・ 鉄筋は、直線材、円弧材など形状パターンで拾っています
 - ・ 鉄筋以外は、積算基準に従い、鉄筋は配筋指針に従って拾っています
- ② エクセル形式で出力し、集計項目をタブで切り替えて表示できます
- ③ 集計結果をエクセルに出力可能にしました

数量根拠表画面

行番号	層	位置				形状				コンクリート		み出し		型枠										種別
		X1	Y1	X2	Y2	B (mm)	D (mm)	B (m)	D (m)	Lx (m)	増減 (m)	ハンチ (m)	(m)	D (m)	2	t1 (m)	t2 (m)	LD (m)	B (m)	LB (m)	ハンチ (m)	弧 (m)	(m)	
G1	1	1	1	1	2	350	650	0.35	0.65	5.90		1.342	0.65	2		0.12	0.12	5.90	0.35	5.90			9.735	FC24

数量集計表画面

項目	部位	2023年 3月 8日																	合計	土間 (D)					
		独立基礎 (FU)	布基礎 (FR)	底盤 (FS)	基礎柱 (FC)	基礎大梁 (FG)	基礎小梁 (FB)	柱 (C)	大梁 (G)	小梁 (B)	床版 (S)	一般壁 (W)	地下壁 (BW)	ブレース (V)	パラペット (PA)	階段 (K)	雑 (E)								
<数量>																									
コンクリート (m)		17.50		4.25	3.28	33.18	6.95	56.58	86.38	26.64	142.10	121.77											498.63		
型枠 (m)		35.55				166.04	46.30	420.79	668.13	230.88	247.53	1,543.51											3,380.57		
鉄筋 (kg)		565.02		463.76	812.66	3,652.82	761.56	7,481.44	11,642.51	3,005.86	15,305.87	14,197.76											57,889.26		
<延床面積当り>																									
コンクリート (m/m)		0.02		0.00	0.00	0.03	0.01	0.05	0.08	0.02	0.13	0.11											0.45		
型枠 (m/m)		0.03				0.15	0.04	0.38	0.61	0.21	0.22	1.40											3.07		
鉄筋 (kg/m)		0.51		0.42	0.74	3.32	0.69	6.79	10.57	2.73	13.89	12.89											52.54		
<コンクリート当り>																									
型枠 (m/m)		2.03			6.67	5.00	6.67	7.44	7.73	8.67	1.74	12.68											6.78		
鉄筋 (kg/m)		32.28		109.15	248.07	110.10	109.64	132.23	134.78	112.82	107.71	116.59											116.10		
延床面積 =		1,101.80 (m ²)																							

8. 設計変更に対応した差分更新ツール（標準機能）

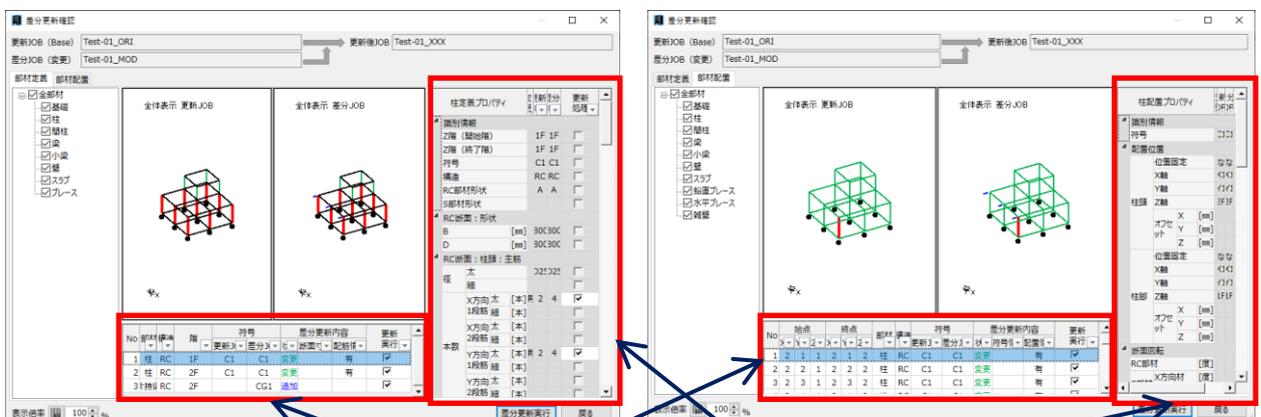
- ① 一貫構造計算データを『SIRBIM』にインポートし、小梁、スラブ、梁レベル、柱の寄りなどの付加情報を入力したと想定します。その後、設計変更があった場合、その一貫構造計算データを『SIRBIM』にインポートします。両データの差分情報を作成し、追加／削除／変更の属性により色分けして、部材定義、部材配置毎に視覚的に確認する事ができます。
- ② 各部材毎の差分更新リストが表示されますので、その行を指定すると、プロパティリストに差分更新情報が表示されます。更新する／しないのチェックボックスがあり、選択できます。
- ③ 各配置部材は、固有の**GUID**を持っています。同じ位置に配置された部材の**GUID**は変更されること無く、配置情報が更新されます。この**GUID**を活用する事により、BIMソフト（ArchiCAD、Revit）とのスムーズな連携が可能になります。

（更新JOB、差分JOBと更新後のJOB指定）



（部材定義の差分情報）

（部材配置の差分情報）



更新リスト

更新情報（プロパティ）

9. 構造図・施工図のレイアウト機能

構造図（伏・軸・詳細図）、躯体図のレイアウト機能に関しては、SIRBIM（Ver2）の中でリリース予定です。

10. **SIRCAD** および関連製品の販売終了および保守停止について

① 『**SIRCAD(Ver6)**』 および 『**SSC-構造躯体変換**』 の販売終了

『**SIRCAD**』の後継製品『**SIRBIM**』がリリースされたことに伴い、『**SIRCAD(Ver6)**』および『**SSC-構造躯体変換（Archicad 版、Revit 版）**』の販売を **2025 年 6 月**までとさせていただきます。

② 『**SIRCAD(Ver6)**』 および 『**SSC-構造躯体変換**』 の保守終了

『**SIRCAD(Ver6)**』製品および関連製品の販売終了に伴い、『**SIRCAD(Ver6)**』および『**SSC-構造躯体変換（Archicad 版、Revit 版）**』の保守契約の更新を **2025 年 6 月**までとさせていただきます。